

議事要旨(4)無形資産専門委員会における検討状況について

逆瀬副委員長(専門委員長)及び豊田主任研究員より、研究開発費の会計処理について、社内開発費を資産計上する場合のその後の会計処理、企業結合等により取得した仕掛研究開発費の取扱い及び仕掛研究開発費を資産計上した場合のその後の会計処理等の検討状況について説明がなされた。事務局からの説明の後、委員からは主に次のような意見があった。

(社内開発費を資産計上する場合のその後の会計処理について)

- ・ 仕掛中(開発途上)の開発費の勘定科目についても、検討すべきではないかと考える。また、研究開発が完成し、製造・販売する段階で減損が生じる可能性もあるため、その点についても検討すべきである。

(研究開発費の時価(公正価値)の把握について)

- ・ 1つの研究開発費が必ずしも1つの製品の結びつくわけではない。したがって自社の研究開発費の時価を測定し、資産計上することは、実務的に煩雑であり、困難が予想される。また、企業結合時に取得した仕掛研究開発費を資産計上した場合のその後の会計処理について、製造段階で使用開始後に減価償却をしていくことは、社内で行う研究開発費の取扱いとの整合性がないという意見があるが、第三者間取引で評価を受け、キャッシュの裏付けを持って取引されている点で、社内の研究開発費とは異なると思う。

以上の意見を踏まえ、引き続き、研究開発費の会計処理について検討していくこととされた。

以 上